

JICA 長期研修員が鹿追町の歴史・産業を体験 地域循環型のまちづくりを学ぶ

日頃より、弊機構の広報にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

JICAは、日本の大学院に在籍するJICA長期研修員（留学生）を対象とし、欧米とは異なる日本の近代の開発経験等を学んでもらうため、地域の歴史・自然・文化等を学び経験する「地域理解プログラム」を実施しています。このたび2月27日に、農業と観光を基幹産業とする鹿追町を訪問し、バイオガスプラントを中心とする環境保全センターにて、廃棄物をエネルギーとして活用する取り組みの視察や、酪農牧場の見学を行い、町・人・環境にやさしい地域循環型のまちづくりについて学び体験するプログラムを実施します。

つきましては、下記につき、御社での取材方、ご検討のほど宜しくお願いいたします。

記

プログラム名：鹿追町「バイオガスプラントを核とする地域循環型のまちづくり」について学ぶ旅

研修員構成：計21名（帯広畜産大学、北見工業大学）

日 程：2026年2月27日（金）

言 語：英語（日英通訳あり）

取 材 日 時：以下プログラムについて取材をご検討ください。

1. 9：30－11：30：鹿追町環境保全センター

家畜の排せつ物などの酪農廃棄物から、電気・熱・水素・堆肥を生み出す地域資源循環モデルや、先進的なカーボンニュートラル実践例を学びます。発電時の排熱を利用したチョウザメ養殖やマンゴー栽培など、再生可能エネルギーであるバイオガスを活用した多様な応用研究をご紹介します。

2. 13：25－15：30：東瓜幕協和生産組合 カントリーホーム

約600頭を飼育する大規模酪農家にて、牧場見学、乳製品のブランディングや牧場のゼロカーボン活動を視察した後、牧草地スノーシューを体感し、学びます。

※住所：鹿追町環境保全センター（河東郡鹿追町鹿追5）、

東瓜幕協和生産組合 カントリーホーム（河東郡鹿追町東瓜幕西18線28-26）

※いずれも荒天時は屋内の見学等へ変更予定

※取材可能な場合は、取材日前営業日（平日）正午までに下記までご連絡ください。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 北海道センター（帯広） 広橋（ひろはし）

TEL：0155-35-1210 E-mail：obihiro_event@jica.go.jp

※▲を@に変えたものが正式なメールアドレスです。